

## 経 済 建 設 常 任 委 員 会 要 点 記 録

日 時	令和5年12月7日	開 会	10時00分	会議時間
		閉 会	14時40分	3 : 32
場 所	委員会室			
出 席 者	武藤委員長・松島副委員長・川原委員・川股委員・早坂委員・吉永委員・柏野委員 傍聴議員： 太田議員、矢野議員、小林議員、三上議員、新潟議員、生本議員			
説 明 者	副市長、経済部長、建設部長、水道部長 外18名	傍聴者数	0人	
事 務 局	議会事務局長、同次長、庶務担当主査	記 者	1人	

### 会 議 の 経 過 事 項

<p style="text-align: center;">柏 野 委 員</p> <p style="text-align: center;">大林公園緑地課長</p>	<p>委員長が開会を告げ、傍聴の許可をし、議事日程について説明する。</p> <p>●日程1．現地調査について 市道認定路線（島松南20号線）</p> <p>日程1．現地調査について 終了</p> <p style="text-align: center;">10時40分 休憩</p> <p style="text-align: center;">10時50分 再開</p> <p>●日程2．付託案件審査について (1) 議案第9号 公の施設の指定管理者の指定について（恵庭市都市公園、公共緑地等168施設）</p> <p><b>【質疑】</b></p> <p>① 今回の指定管理者の変更にあたり、仕様書に変更の箇所があるのか伺います。</p> <p>② 管理費用の参考額が増えていますが、増額の要因について伺います。</p> <p>③ 継続の事業者ですが、改めて提案の中で、特筆すべき内容があったか伺います。</p> <p>④ 5年前と比較し、前は79点で比較的高かったと思いますが、今回は64点と大きく下がっていますが、どういった点で評価が下がったのか伺います。</p> <p>① 今回いろいろな箇所の変更をしています。まず、恵庭ふるさと公園、水路がありますが、この通水期間は、これまでは5月下旬から8月上旬としていましたが、最近5月頃から暑い日も多いことから、最高気温が20度を上回る5月中旬頃から9月中旬頃までを原則とするように改定しています。また近年、公園樹に起因する問題が増加しており、高所作業車の配備について条件化しています。次に、公園樹の剪定、伐採や公園施設の修繕について、5年間の修繕計画、剪定計画を策定していただき、それに基づいて指定管理業務を進めるように仕様書に明記しています。</p> <p>② 増額の要因として、一つ目は除草です。管理する公園数が増えたことと、公園美化活動が衰退してきていることもあり、除草面積が前回よりも2万㎡、延</p>
--	--

べの除草面積で18万㎡ほど増えており、金額でも1,800万円ほど増額となっています。次に、給与ですが人件費の高騰もあり、この影響からこれまで都市公園は管理人9名体制で、三つの管理事務所からそれぞれ管理に向かうという体制をとっていました。これを4月から11月までの期間で算定していたが、実情は冬季も3名だけは雇用を継続し、冬期間の公園の見回りをしていました。この3名分の4ヶ月分の給料を見込み、200万円ほど増額になっています。次に減額の要因は、トイレの清掃、桜町多目的広場の管理、今回は積算により価格を算定していましたが、令和元年から令和5年の実績を見ますと、積算と乖離があることから、実績値を用いた積算に改めています。この二つで概ね500万円ほどを減額しています。次に、電気料金です。以前にも報告していますが、LED化をしたことにより、電気料金の削減が図られ、今回200万円ほどの減額となっています。増額、減額をまとめますと、年間で1,160万円、5年間で5,800万円ほどの増額として算定したところです。

③ 提案で特筆すべき事項としては、例えばホームページをリニューアルし公園について、実際に公園でできる事例も含めて紹介するように改修をしたいという提案がありました。町内会の夏祭りなどに指定管理者の職員を派遣し、地域活動の補助をすることで、地域との連携を図っていくということも新たに提案されています。また自主事業についても、今回3点ほど新たな提案があり、項目では、公園の有効利用で、空いている花壇スペースなどを活用した市民農園のような取組、公園から出る伐採木を利用してスウェーデントーチを作成して販売すること、移動式のピザ釜を用意して、イベントなどにそれを持っていき、地域の賑わいづくりに活用していきたいという3点の提案があります。

④ 大きく2点が要素として考えられます。一つ目、採点方法ですが、前回の指定管理者の選定は所管課である当時の建設部管理課の職員が採点をし、建設部として最終的な評価をしていましたが、今回から庁内5名の職員による指定管理者候補者（案）選定委員会を設置し委員会での採点に切り替えたことで、視点もだいぶ変わり、評価が大きく変化したのではないかと考えています。もう一つは配点の見直しです。前回までは比較的大項目四つに対して配点をしていますが、このうち価格に対する評価のウェイトが大きく、100点満点の35点を占めていましたが、指定管理を平成20年度から実施していて、16年経過していますので、価格での差別化はなかなか難しいのが実情で、こういった要因から価格点を10点下げ25点まで配点を下げ、下げた分については、例えば公園の有効活用に対する提案や地域住民との協働といった項目を加点するという調整をしています。こういった内容で最終的には79点から64点ということで、15点の減になったところです。

柏野委員

仕様の変更についてはわかりました。参考額は結構増えていると見ていましたが、今内容の説明を受けて、概ね理解しました。それで提案の内容で、公園の有効利用の提案があったことは非常にいいことだと思います。

⑤ 今回サウンディングを行ったり、その事前段階で複数応募の可能性があったと思っていましたが、結果的には1事業者の応募でした。募集する前の段階で、分割して募集することの検討は、行われなかったのか伺います。

大林公園緑地課長	<p>⑥ 利用促進の取組で、これまでも利用促進が行われてきた中で、例えば公園の使用料収入の増加に繋がるような取組があれば、そこは利用料金として収支に対してもプラスに働くと思いますが、利用料金の増加に繋がるような提案はどういったものがあつたのか伺います。</p> <p>⑤ 指定管理者を今年度選定するにあたり、前年度、令和4年度から指定管理者制度を導入している八つの市を回って、どういう募集をしているのか、分割して募集しているかなどヒアリング調査を実施しています。近隣では千歳、北広島、札幌、石狩市、帯広、旭川市にも出向きいろいろな意見を聞いています。分割することによるメリットは、市内に複数の指定管理者が立地することで、競争が生まれると思いますが、デメリットとして、コストが上昇するというのが、各自自治体ヒアリングした結果です。最終的には分割も検討しましたが、今回は検討が最終的に深まらなく、次回の指定管理者の更新に向け調査研究を引き続き進めていくことで検討を終えています。</p> <p>⑥ 利用促進の提案ですが、我々も使用料、増えれば増えるだけありがたいというところが当然ありまして、指定管理者からも提案をいただいています。今はまちづくり協同組合に出向き利用の申請をする形をとっており、利用料金の支払いもその場で現金でとなりますが、例えばインターネット上で予約を取り決済もできるような仕組みを構築できれば、より利便性が高まり利用も増えるのではないかと、仕様書の中でも、令和7年度頃を目途に、そういったことができなにか検討しましょうと書いており、提案の中でもその趣旨にのっとって前向きな提案をいただいています。</p> <p>(質疑終了)</p>
川 股 委 員 川 原 委 員	<p>採決し、可決すべきだと思います。</p> <p>私、今回公園等については、全部見たわけではありませんが、私の行動範囲の中で各公園、そしていろいろな対応を見させていただき立派にやっていると、指定管理は基本的には行政がやるべきものを、民間に行政の思いでやってもらう、その形がしっかり出来上がり、もう既に経験を持っていて、新しいところになると少し心配もありますが、継続してやっていただけることは、指定管理者制度にのっとった立派な判断とと思っていますので、採決し可決をお願いします。</p>
松 島 委 員 早 坂 委 員 吉 永 委 員	<p>採決し、可決をお願いします。</p> <p>採決、可決をお願いします。</p> <p>今の管理がしっかりなされていること、それから将来に向けて、いろんな施策を考えていること、よって、採決して可決をお願いします。</p>
柏 野 委 員	<p>採決して可決をすべきだと思います。理由は、現管理者でこれまでの実績を踏まえた上で、さらに公園の利用促進に向けての提案をいただいています。公園は地域にとっても重要な施設であり、公園が起点となりさらに市民のコミュニティが活性化されることを期待します。</p>
武 藤 委 員 長	<p>それでは全員が採決し、原案可決との意見でございます。</p> <p>したがいまして、本案は可決すべきものと決定いたしました。</p>

<p>柏野委員</p>	<p><b>【結果】</b> 可決すべきもの。</p> <p>(2) 議案第12号 市道の認定及び変更について</p> <p><b>【質疑】</b></p> <p>① 市道の認定指針では原則8m以上となっていますが、今回は8mではなく4m以上ということです。こういった要件で市道認定するのか伺います。</p> <p>② 市道認定する路線の終点側は、バリアフリー化されている歩道に接続しているということで、この歩道の安全管理に関して、何か変更があるのか伺います。</p> <p>③ 道路の除雪の現状と、市道の認定によって何か変更があるのか伺います。</p> <p>④ 今回資料の写真、ストリートビューや本日現地調査で確認したときもそうですが、路上駐車がされている状況があり、多分駐車場用地としては確保されていると思いますが、比較的常時駐車している状況なのかと思いますが、市道認定された後に何か働きかけや変更はあるのか伺います。</p>
<p>山下管理課長</p>	<p>① 市道の認定には区画整理事業により個人に換地された道路、公共下水道事業により市に寄附された道路、開発行為等により造成された道路、この3点がまず4m以上が対象となります。それ以外にも、認定の要件として道路敷地内に通行の支障となる物件がない、道路敷地境界が明確にされている、道路敷地に所有権以外の権利が設定されていない、また、極端に道路が屈曲したり、急な勾配でない、道路の幅員に応じた隅切りを有する、地域において市道になることが要望されている道路ということが認定の要件となります。</p> <p>② 終点側、島松駅通側の安全管理について、今回市道となることによって、何か安全対策で変更となるかについては、特にありません。今後、市で維持管理をするので、道路の穴埋め補修等、市で行っていきます。</p> <p>③ 除雪について、現段階においても、市で委託していました。用地が4mと狭いことから、通常の除雪車、ショベルは入ることはできない路線ですので、小型のショベル等で除雪しています。市道になっても、機種の変更はなく、これまでと同様に除雪をすることとなります。</p> <p>④ 路上駐車ですが、実際、私も現場行くたびに車が止まっており、除雪の際にも狭い道路が余計狭くなります。市でも路上駐車等のパトロールをしており、先週も市の職員が路上駐車のパトロールを行い、路上駐車にはワイパーにビラを挟むなり、迷惑行為の啓発を行っています。こちらが市道になりましたら、そちら等を市で行っていく考えです。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>⑤ ④今後、市が管理するということで、道路の舗装、通行がよりしやすくなる管理もあり得ると思います。そうなったとき出入口の両方が歩道を横断する形になっていて、郵便局側は結構歩道の痛みは激しいと思ったのですが、ただそこが勢いよく出てきてしまうと、点字ブロックが敷設されている道路を渡るわけですから、歩行者の安全が守られるよう、今後の維持管理に努めていただければと思います。</p>
<p>山下管理課長</p>	<p>⑤ 道路の維持管理について、通常私道の場合、道路に接道する部分は巻き込みという形で、歩道上を横断する形ではないパターンになります。今後例えば今</p>

	<p>の道路が改良される際には形状変更等をしたいと考えています。また、歩道を横断する形で島松駅通に出ることになりますが、今の点字ブロックが傷んだ場合については、市で随時補修修繕等を行い安全管理に努めたいと考えています。 (質疑終了)</p>
柏野委員	採決して可決すべきだと思います。
吉永委員	採決し、可決でお願いいたします。
早坂委員	採決、可決でお願いします。
松島委員	採決し、可決でお願いします。
川原委員	採決し、可決でお願いいたします。
川股委員	採決して可決でお願いします。
武藤委員長	<p>それでは全員が採決し、原案可決との意見でございます。したがって、本案は可決すべきものと決定いたしました。</p> <p><b>【結果】</b> 可決すべきもの。</p> <p>日程2. 付託案件審査について 終了</p> <p>●日程3. 所管事務調査について</p> <p>1) 報告事項 資料説明 事故等発生(処理)報告について</p> <p><b>【質疑】</b></p>
西中経済部次長	
吉永委員	① 状況で安全ガードを設置していたけど、入居者が誤って転落したということです。対策もガードの設置やカラーコーン、バーの設置ということで、この前後どのように変更になっているのか伺います。
塚野建築課長	① 事故発生前の安全対策は、床下点検口を開けて作業をする際には、点検口周りに安全対策のガードを設置していました。今回の事故を受け、再発防止として、ガードの設置に加え、カラーコーンと進入禁止のバーを置き、その部分を立入禁止としています。ただ、誤って進んでしまった場合、床下点検口に落ちないように床下点検口自体にも木製の蓋をおき、誤ってカラーコーンやバーを突破しても、床下点検口からピット内に落下しない対策を行っています。
吉永委員	② 今回から比べると二重のガードしたということですので、木製の蓋ですけど、その点検口に人が入ると思いますが、普通に考えると網目など考えますが、その辺はいかがですか。
塚野建築課長	② 中で作業している方がいますので、空気穴というか若干穴を開けて、対応していたところです。
吉永委員	安全に関することですので、十分気をつけて作業されるようお願いいたします。
柏野委員	① 事故報告の資料③で、昨日の厚生消防常任委員会の中では質疑がなかったので、お聞きしたいのですが、これは事故の中でも生命に影響を与える可能性がある重大な事故だと思いますが、これに伴って委託料の精算がどうなっているのか伺います。

<p>横道副市長</p>	<p>② この影響として、市民が、例えば千歳の診療所に案内されて行ったとすると、それに伴う経済的な損失はどのように賄われたのか伺います。</p> <p>① 夜間診療所で初めて起こった事故といいますか事件ですが、先生と連絡がつかず当然、医師の出勤がないということで、その精算は行われるようになっていきます。</p> <p>② また千歳の夜間診療所を紹介して、そちらに回っていただいたところの精算は特にご理解をいただいていると考えています。</p> <p>日程3. 所管事務調査について終了</p>
<p>山下管理課長</p> <p>大林公園緑地課長</p> <p>栗野市営住宅課長</p>	<p>●日程4. 建設部関連</p> <p>1) 報告事項</p> <p>資料説明 ⑦令和5年度 除雪計画について</p> <p>資料説明 ⑧車両センターの委託化について</p> <p>資料説明 ⑨助成金制度の見直しについて（恵庭市街路植樹樹・植樹帯管理事業 助成金、恵庭市公園美化活動助成金）</p> <p>資料説明 ⑩恵庭市公営住宅等長寿命化計画の見直しについて</p> <p>資料説明 ⑪市営住宅の目的外使用について</p>
<p>吉永委員</p>	<p>【質疑】</p> <p>① 資料⑨まちづくり協同組合で管理する公園の中の除草で、指定管理者と町内会等の関係をどうしているのか伺います。</p> <p>② アンケートで出てくる、助成金制度ということで3ページの上のほうに、今回変更点が書かれており単価の上限増となっていますが、この中に無いアンケートで出てきた袋の詰込みが大変だとか、刈払機の維持管理費用が捻出できないというところはどうなっているのか伺います。</p>
<p>大林公園緑地課長</p>	<p>① 助成金活動で除草している公園は、指定管理の除草から外すことで毎年調整をしています。ただし、除草の助成金は、刈って収束するところまでの作業が助成金の対象となっていますので、回収については、全ての公園指定管理者で対応しています。</p> <p>② そういった意見が複数あり、実際に今年度も、大型の肥料袋のようなものを町内会で用意して、これに集めたら回収してくれるかというご相談がありますので、できるだけ大きいものでも市で回収に行くという対応をとっています。</p>
<p>吉永委員</p> <p>大林公園緑地課長</p>	<p>③ わかりました。今回の助成に個人、実施団体の拡大ということで、個人と、あと実施団体でその他の団体となっていますが、個人がなぜ入ったか伺います。</p> <p>④ その他の団体とはどういうことをイメージしてるのか伺います。</p> <p>③ 今回のアンケート調査は、助成金事業の実施団体にアンケートをしていますので、なかなか個人という意見は出てきていません。ただし一方で公園緑地課への直接問い合わせで、個人でも助成金事業を活用できないのかというご意見が継続的にあることから、今回個人を追加しております。</p> <p>④ 助成金活用団体を町内会、自治会に絞ってきましたが、団体数が減少の一途をたどっている状況ですので、スポーツ団体や少年団をイメージしていますが、</p>

吉永委員	<p>こういったところも参画していただくことで、より助成金事業の活用を推進したいと考えています。</p> <p>個人については前々から清掃していただいている方がおります。その人も含めるといことは非常にいいことだと思いますし、その他の団体に関してもスポーツをする小学生、中学生の団体が何か清掃しているといったところも見受けられます。団費にもなりますし、非常に良いことと思います。ありがとうございます。</p>
松島委員	<p>① 資料⑦、除雪計画の4ページ、小型除雪機の貸出しについて、小型除雪機は町内会からも要望があるということですが、どのぐらいの台数を用意して、どのぐらいの大きさなのか伺います。</p> <p>② 町内会から要望ということですが、それ以外の団体は、どんなところを想定しているのか伺います。</p> <p>③ 貸出しを1日単位ということですが、その理由について伺います。</p>
山下管理課長	<p>① 2台確保しています。その中で、町内会から希望した日にちを随時使い回していく形で考えています。大きさについて、ハンドガイド除雪機として、大体70cm幅で雪かきができる形の機械を用意しています。</p> <p>② 現段階で町内会等の団体という形になっていますが、今試行で考えているのは、まず町内会、自治会という形で考えており町内会単位という形で考えています。</p> <p>③ 1日単位で最大連続で3日間という形で考えてはいますが、例えば時間単位とか半日となりますと、搬出入を委託するまちづくり協同組合がなかなか細かく対応できないということがあり、連絡いただいて時間調整をしますが、まず朝、指定場所まで運び、その後使用した後、夕方に回収に行くということ考えています。また、1日で貸して戻してというのではなく、3日間の場合、最初に貸し出して、その後の保管は町内会にさせていただくように考えています。</p>
松島委員	<p>④ ①2台ということですが、もし大雪の場合は殺到すると思いますが、でも無料で貸出しというのは大変嬉しい。町内会としても、結構町内会長さんが自分の除雪機を使って除雪をしているという話も聞いてますので、貸していただけるのは嬉しいと思います。</p> <p>⑤ 運転手付きでダンプを貸してもらえるということですが、予約して、これも回数など決まっているのか伺います。</p>
山下課長	<p>④ 除雪機、無料という形ですが、使用した際の燃料は団体さんで負担してもらうこととなります。</p> <p>⑤ まず1日単位という形で考えており、まず1シーズン施行ですが、2回までで考えています。今年、まず施行1年目ということもあり、今後使用した後いろいろご意見等をアンケート等で聞かせてもらうこととしています。その中で、いろいろな要望等、聞取りを行いながら、どのような形にしたら使いやすくなるのか等、検討していくことにしています。</p>
川股委員	<p>① 資料⑧、車両センターは今回も委嘱状の発行が終わり、前回顔合わせを行っ</p>

	<p>たと思いますが、農家の方々の冬の仕事場、雇用先にもなっていて、年齢も上がってきているとは思いますが、今シーズンは農家の方々が従事するのは何名か伺います。</p> <p>② 資料⑩、市営住宅における課題、高層階の入居状況の中で、エレベーターなしとエレベーターのある方、1階から6階までの入居率が出てますが、どちらも4階だけが低いですが、理由があるか伺います。</p> <p>③ 大学生を対象に団地内のコミュニティ活動の参加を条件とした目的外使用を認めるということですが、以前の清和会も含め自民党議員団ではJAの農業研修生の住まいについて非常に苦慮しており、できれば市営住宅の空いてるところ1軒に複数人入れることができないかという要望をしています。今、恵庭市は776人の外国人が既におられまして、そのうち多くは農業実習生、工場等に勤めている5年以内に帰られるような方々ばかりだと思いますが、特に農業実習生は所得も低く、勉強しに来ているので、そういった部分での彼ら彼女たちの住まいに、大学生として地域とのコミュニティあるいは除雪作業や環境美化、団地の中での行事に参加するということを考えるのであれば、検討する余地はあるのか伺います。</p>
高橋車両センター長	<p>① 10名を雇用して作業を進めます。具体的にはその10名と他8名、18名で車両センターで担っている、車道除雪と歩道除雪を行う予定です。農家の方は10名です。</p>
栗野市営住宅課長	<p>② 恵央団地、寿第一団地の3号棟以外は、エレベーターが設置されていません。残り旭団地と桜町団地が一つ大きな団地ですが、中でも桜町団地は全て4階建てで、入居率が大変低い状況であることが入居率が低い要因と分析しています。</p> <p>③ 今回の目的外使用は、包括連携協定も結んでいるといったところで、また5階建ての旭団地は入居率が低い中で、戸数も3戸と少ないですが、その戸数で学生に入居していただき、まず地域で活動をしていただいて、試行的にこの制度を学生を対象に一旦やってみようと考えています。その後、学生入居を通じて、農業研修生、他の外国人の実習生について、対象を広げられるか、今回は学生の入居の事業を通して、他の入居者の感想、入居いただいた方の感想を分析しながら、今後の入居対象のあり方について検討していきたいと考えています。</p>
川 股 委 員	<p>④ ①10名中10名が農家だということですね。委託になる令和7年のときに、今まで長い間、車両センターで冬の間、雇用していた農家の方、ある程度技術も持ってるわけですし、この方の処遇、仕事をなくすのか、それとも委託先に雇ってもらえるかは大きな問題だと思います。そのあたりを伺います。</p> <p>⑤ ③ぜひ検討お願いしたいと思いますが、外国人の方でも、きちんと働いていて給料ももらっている方と、それから農業実習生で研修のために来てるから、お小遣い程度であまり給料もらっていないタイプとあると思いますが、私の言ってるのはその後の方で、特にJAの関係で要望が出ています。今月15日にJAと農業政策懇話会があり、同じような要望が出てくると思いますが、できるだけ明るい題材を持っていきたいと思ってます。何年も前から研修生が来るようになってから、住むところは非常に苦慮しています。財力、資力のある農家は、プレハブを自分で建て住ませたり、あるいは自宅の空いてる部屋に</p>



高橋車両センター長	<p>住ませたり工夫していますが、年々増えてきてますし、農家の方も高齢化に伴って働き手も少なくなってきた中、この制度を利用するところが多くなってきています。そういったことも含め前向きに検討していただきたいと思いき、法律の壁も当然あると思いき、大臣の許認可を取れるような努力もしていただきたいと思いき。</p>
栗野市営住宅課長	<p>④ 冬季間の除雪作業員も、地域の事情をよくわかっている状況ですので、委託先においても引き続き雇用してもらうよう調整しています。</p>
川 股 委 員	<p>⑤ 学生入居を進めていく中で、本来入居以外の方が入居することでの課題、改善点も検証しながら、将来的に農業研修生、枠を広げられないか、何戸ぐらい広げるかといったことも含めて調査研究し、検討するにあたっては農業団体、農家のご意見も聞きながら、勉強していきたいと思っています。</p> <p>車両センターはわかりました。市住の目的外使用で、恵庭市も多文化共生で外国人の方々とともに暮らすことをとても大事にしています。企画でもいろいろなことをして新聞等にも載っています。また外国人も、恵庭の文化、日本の文化を満喫しながら楽しんでいるようにも見かけます。ただ町内会でも、アパートの中に大きなパン工場に勤めに行ってるような外国人の方がいるような町内会であると、何とか一緒に盆踊りやいろんなものをできないかと、積極的に進めている町内会もあります。前向きにしっかり実現できることを考えていただければと思いき、よろしくお願ひしたいと思いき。</p>
柏 野 委 員	<p>① 資料⑧の2ページで、委託化する上での課題として、業務内容や目的に合った適切な正職員を継続的に配置する必要があると書かれています。そうすると、現状としては、業務内容や目的に合った適切な正職員が配置ができていないことになるのか伺います。</p> <p>② 3ページ(3)、車両センターの運営を民間に移行ということが書かれています。これは、1ページに書かれている業務概要として書かれている5点を業務委託することと何か違いがあるのか伺います。</p> <p>③ 資料⑨、面積当たりの単価を今回引き上げるという変更ですが、現状の単価設定の根拠と、引き上げの単価設定の根拠はどういう考え方か伺います。</p> <p>④ 資料⑩、市営住宅の目的外使用について、今ご説明の中では包括連携協定を結んでいる北海道文教大学を想定してということだと思いますが、仮に入居者が見つからなかった場合、市外の大学に拡大する考えがあるのか、もしくは市内の専門学校を対象にする可能性があるのか伺います。</p> <p>⑤ 年度途中で退去になった場合、その後の対応はどうするのか伺います。</p>
高橋車両センター長	<p>① 現在車両センターの職員の配置状況ですが、市の職員は、私と主査とスタッフ3名です。私は土木技術職で、具体的な機械の整備だとか大型車両に乗れるわけではありませんが、今いる主査とスタッフはそれぞれそういった機械の運転免許を持っていて、機械の整備も詳しい状況です。ただ、私とスタッフは再任用職員でもう既に60歳を過ぎており、主査も50歳ということで高齢化している状況です。今後のことを考えますと、車両センターが今まで担っている業務を適切に進めていくためには、車両の運行や土木作業といった業務の性格</p>

	<p>上、建設機械の操作管理に精通している人が必要だと考えており、現時点ではそういった人が市内部にいないということ、そういった知識経験を持ち合わせた職員がいないということで、今後の車両センターを運営していく上では、運営を民間事業者に委託したほうが良いという考えのもとで、令和7年度から委託化を目指しているということです。</p>
大林公園緑地課長	<p>② 車両センターの運営を民間に移行することは、車両センターの組織を解体するという意味ではなく、また今いる通年で雇用している会計年度職員が7名で、先ほど川股委員の質問と重複しますが、冬季間は10名の除雪作業員を雇用しますが、引き続き彼らを継続して雇用していただく、そして仕事の確認だとか仕事の流れ、車両センターは、基本的には建設部管理課から指示を受けて業務を進めていく、そういった仕事の流れは全く変えず、今、市の職員が3人いますが、そこを民間事業者の職員で業務を進めていきたいと考えています。</p>
栗野市営住宅課長	<p>③ 助成金の単価の算定については、国土交通省が出している歩掛を基に人件費、機械、諸経費等を算定した上で、助成金活動ボランティアを前提としてるところから、その中から人件費を除く形で単価を算定しています。</p>
柏野委員	<p>④ 基本的には対象大学は北海道文教大学で考えており、3戸見つからなかった場合は募集してみないと何とも言えないですが、これまで大学との協議を通じた中で、一定程度の需要はあるのではないかというお話をいただいていますので、3件の申込みがあるよう私どもも働きかけを行っていきたいと考えています。</p> <p>⑤ 引続き募集を行い、入っていただけるような形で取組をしたいと思っています。資料⑨についてはわかりました。</p> <p>⑥ ①資料⑧例えば2名の専門職がいれば存続できるということなのか、どう比較をしていいかわかりませんが、資料3ページ、直営だと今9,000万円かかっている、これを(3)民間に移行すると1億4,600万円かかるのであれば、差額5,600万あるわけですから、例えば2名なり3名の職員を、専門職を養成、研修をしていくことができれば、継続的に少ない金額で置き換えることが可能なのか、それだとどういう支障があるのか伺います。</p> <p>⑦ ②組織を解体するのではないというのがますますわからなくて、だとすると、管理課でそういった雇用の部分を担ったとして、直接管理課が会計年度任用職員を雇ったときに、こういった支障が出てくるのか。センターの運営を移行するところが、その仕事とその組織とがよくわからないので、もう少し詳しく教えていただければと思います。</p>
高橋車両センター長	<p>⑧ ⑤一定程度の需要があるということで、3戸入っていただければいいんですが、やはり年度途中で出てしまった場合にまた募集するとして、なかなか年度途中で入っていただくのは難しいのかと思いますが、その際の、学年等の要件とかがどうなっているか、緩和していくことがあるのか伺います。</p> <p>⑥ 車両センターに私も含めて、職員3名いますが、それを民間事業者に担ってもらおうということで、今まで発注者の建設部管理課の指示に従って、センターも作業を進めているという大きな流れは全く変わりません。</p> <p>⑦ 総務省から技能労務職の給与の総合的な点検をするよう通知があり、恵庭市</p>

<p>栗野市営住宅課長</p>	<p>も、技能労務職員等の給与等の見直しに向けた取組方針を策定しています。その中では、行政責任の確保、公共性の確保、市民サービスの維持向上、効率性の確保などを基本として業務内容を見直しつつ、欠員については外部委託などにより定員削減を進めていくという方針を示しております。そうしたことで、今後現業職としても採用予定がない状況で、令和7年度から、現在センターが担っている業務を維持していくためには、センターの運営を委託化せざるを得ないと考えています。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>⑧ 現在、文教大学と調整している中で、来年度新たに行う事業ということで、今の段階では、ご案内する対象は在学している学年ですので、1年生から3年生、新2年生から4年生を対象に学生さんに案内をすることで今進めています。ただ新入生については、年度当初の案内は難しいので、もし退去等や空き家があるといった状況であれば、新1年生向けの案内も4月以降はできるのではないかとということで、各学年別に周知の工夫ができると考えています。</p>
<p>高橋車両センター長</p>	<p>⑨ ⑦概ね意図はわかりましたが、組織を残すという方針がもう決まっているようですが、それは例えばセンターを廃止した上で、会計年度任用職員を管理課が雇用するという形で、農家の方も含めてそういう形で行ったときに、どういう支障があるのか伺います。</p>
<p>早坂委員</p>	<p>⑨ 業務を安全かつ円滑に進めていくためには、市職員を統括指揮管理、指導管理することはもちろんですが、車両の運行や土木作業といった業務の性格上、建設機械の操作、管理に精通している人をセンターに配置しておかないと、労務管理、資材管理、車両管理といった総合的なリスク管理を進めていくことができないという判断のもとで今回、運営を委託化せざるを得ないという判断に至っています。</p> <p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p> <p>【質疑】</p>
<p>大林公園緑地課長</p>	<p>① グリーンベルトの整備で、だいぶ木が切られたのですが、真ん中ぐらいで切られてる木もありますが、大丈夫か伺います。</p> <p>② グリーンベルトの枯葉の清掃をシルバーセンターのボランティアでやっていますが、どうしてシルバーセンターにお願いしているのか伺います。</p>
<p>大森公園緑地課長</p>	<p>① グリーンベルトの伐採、剪定、今作業を実施しているところで、今年度は市役所の真裏の部分を実施しています。来年度以降、えにあすのところまで作業を継続しようと思っています。木を見ていただくと、黄色いテープとピンクのテープが巻いてありますが、ピンクのテープは、木の状態が悪いため伐採を予定しており、今高所作業車を使った作業が必要な部分まで伐採が終わっています。1m50cmぐらい残った状態ですが、今月中に切り株になるように、下まで伐採をする予定です。</p> <p>② 道路の維持管理の一環としてこの緑地は、シルバー人材センターに草刈りをお願いしているエリアです。シルバー人材センターからの申し出があり、年に</p>

<p>早坂委員</p>	<p>2回と記憶していますが、枯葉と春の清掃をボランティアで実施していただいています。</p> <p>1点目伐採の件はわかりました。</p> <p>③ ②シルバーセンターの件ですが、手当を払ってそういう作業ができないのか伺います。</p>
<p>大林公園緑地課長</p>	<p>③ グリーンベルトも道路の一部ですが、道路の枯葉については、道路維持委託あるいは直営で枯葉を回収しています。ただグリーンベルトは、シルバー人材センターからボランティアで実施させていただきたいという申し入れがあることから、我々の作業を減らして、シルバー人材センターにお願いしています。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>① 前回の10月5日の経済建設常任委員会の資料⑧、公園のあり方等検討委員会と恵み野中央公園を考える会という説明があり、すごくいい取組だと思っていて、10月から議論が始まったということですが、恵み野中央公園で一部工事が始まっていて、せっかく議論が始まり市民の意見を取り入れ、活用方法を考えて行く段階なのかと思いますが、既に一部遊具の更新工事が始まったところとの整合性について伺います。</p>
<p>大林公園緑地課長</p>	<p>① 恵み野中央公園を考える会は、11月6日に第1回目の会議を設け、次回12月15日に開催する予定となっています。遊具の更新ですが、今回の恵み野中央公園の改修は、全体11haの公園ですが、図書館、音楽堂を中心とした4haは利用者ニーズと公園の施設が合致していないと考えており、ここについては面的にリニューアルをしたいと考えています。残りの7haは、地元の利用も比較的あるため、施設の長寿命化を図りながら魅力を上げていきたいと、二つの事業で考えており、今回の考える会は、図書館を中心とした4haの面整備について主に議論をいただいております。ただし、その4ha以外に当然話が及ぶこともあり、公園全体を見る中で、この中心の4haがどういう役割を担っていくかを議論いただいております。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>7haと4haとわかれているということですが、実際利用するときには隣接しているので、やはりそこでは考える会の方々の意見を踏まえた形での改修になっていたらと思います。お願いします。</p>
<p>上山商工労働課長</p>	<p>2) その他所管事務調査について終了</p> <p>日程4. 建設部関連終了</p> <p style="text-align: center;">12:22 休憩</p> <p style="text-align: center;">13:20 再開</p> <p>●日程5. 経済部関連</p> <p>1) 報告事項</p> <p>資料説明 ①北海道における次世代半導体プロジェクトに対する恵庭市の取組について</p>

<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>資料説明 ②第3期恵庭市人材確保計画の策定について（中間報告）</p> <p>資料説明 ③シン・えにわん産業祭2023 in はなふるのアンケート調査結果について</p> <p>資料説明 ④新型コロナウイルス感染症及び物価高騰に伴う経済対策について</p> <p>資料説明 ⑤市内周遊プラン作成事業について</p> <p>資料説明 ⑥ルルマップ自然公園ふれらんどパークゴルフ場について</p>
<p>松島委員</p>	<p>【質疑】</p> <p>① 資料②、1ページ目のアンケート調査について、従業員が不足している、61.6%とあります。20ポイント減ということですが、その要因と、若い人が定着しないで辞めてしまう状況なのか、それとも募集しても来ないのか伺います。</p> <p>② ③、恵庭市に正社員向けの合同企業説明会を実施してほしいと記載がありますが、これまで恵庭市で合同企業説明会を行っていると思いますが、その効果、実施状況を伺います。</p> <p>③ 5ページ、外国人労働者はこういった形で雇用ができているのか、5年とか1年単位で変わってるとか、どういう条件で働かれているのか伺います。</p>
<p>上山商工労働課長</p>	<p>① 採用した方が辞めてしまうこともありますし、そもそも若い人が来ないということを知っています。</p> <p>② 今年は、2ページに10月27日に119名参加と記載しており、今年度、第1部、第2部と分けて実施しており、第1部がパート、アルバイト向け、第2部が正社員向けと2部構成で実施しています。今年は第1部10社、第2部は12社に出展をいただいています。来場者数ですが、今年はパート、アルバイトの方が多く、第1部が72人、第2部は47人で、この中でブース訪問した延べ人数は第1部では156人、第2部では121人です。採用された数は、10月にやったばかりで実際に採用されたかどうかは、受託業者で12月中旬頃に聞き取りを行うということですので、まだ今年度の結果は上がってきていません。</p> <p>③ 今回そういう観点での調査をしていないので、それについてはお答えが難しいところです。</p>
<p>松島委員</p>	<p>④ ③外国人の部分ですが、人材力というか、企業として重要な部分ですが、今後外国人の方で応募される方が減っていく心配はないのか伺います。</p>
<p>上山商工労働課長</p>	<p>④ 国でも技能実習制度の見直しとか、そういった部分が予定されているというところで、現状としては、そのような形になっていますので、今の段階では明確に申し上げることはできませんが、大きく国でも状況が変わりますので、その影響は受けることは間違いないというところで、それに向けた情報収集をしていきたいというところです。</p>
<p>吉永委員</p>	<p>① 資料①、北海道における次世代半導体プロジェクトについて、このアンケート調査の目的、目標の定義を伺います。</p> <p>② それに付随して、その定義が変わってきますが、2ページ8番の調査結果のポイントとして、直接の影響はなかった、新規の取引先を期待する回答が多</p>

<p>上山商工労働課長</p>	<p>く挙げられました。人材流出や採用の影響を不安視する回答があったことに対して、今後本調査を繰り返し行くと、道や関係機関と連携して不安解消、市内企業の活用促進に努めるといったところで、定義が変わると変わりますが、ポイントと今後の対策を伺います。</p> <p>① 市内における工業団地の不足に対応し、戦略的かつ実効性のある企業誘致活動を実施していくため、全国の対象企業に対する立地動向調査を行うことで、新たな工業団地の整備検討に資する情報の収集分析を行うというのが目的です。</p> <p>② なかなか私どもも情報として入ってきていないというのが正直なところです。ただ、だからといって何もしないということにはなりませんので、こういった情報を、道庁でネットワークがつけられていますので、こういう意見が来ているので対応願うことを繰り返し伝えていきたいということでこちらを書いています。ですので、今後も状況は都度変わっていくと思いますので、その中身について継続的に確認をしたいという趣旨で記載をしています。</p>
<p>吉 永 委 員</p>	<p>目的、目標についてわかりました。最終的にはやはり本市に優良企業を誘致して経済効果を高めると、そのために工業団地の用地が少ないので、どれぐらいの規模を準備すればいいのか検討したいということだと思いますが、調査して、その結果に基づいて次に何をやればいいのかといった対策を、次回以降調査したものを分析検討し、どの方向でいけばいいかももう少し詰めていただければと思います。</p>
<p>柏 野 委 員</p>	<p>① 資料①半導体プロジェクトですが、半導体の4で、先進地の視察を行い調査結果があるとのことですが、いつの時点で委員会に示されるのか伺います。</p> <p>② 資料②人材確保計画について、企業アンケート調査の実施状況の中段②障がい者の雇用については、以前よりも減少しているという記載があります。過去にも一般質問の中などでもお聞きをしていましたが、令和4年度は義務付けの対象は32社です。法定雇用率も年々上がっており、障害者雇用促進法の改正がある中で、現状はこの義務付けの32社に関しては増えているのかもしれませんが、どうなってるのか伺います。</p> <p>③ 2ページに推進委員会の取組が書かれていますが、市内企業の情報発信がまずあり、これまで冊子を作成してきたものが求人サイトを活用した情報発信に変わったと。説明会のPRも大きかったのかもしれませんが、今回これを掲載したことにより何社の情報を掲載し、その成果としてどういった応募があったのか伺います。</p> <p>④ 同じく取組で、バスツアーを実施したというのがありました。そういった新しい取組を進めてほしいと思いますが、非常にいい取組だと思う一方で、参加者が少ないと思うので、この課題の部分と今後の対応を伺います。</p> <p>⑤ 4の最後の※印で、就職氷河期に特化した取組は、外部委員から対象者がいるかわからないという消極的な意見が出ていますが、一方で全国的な事例を見ると、公務員の氷河期採用をすると非常に高い倍率が出たり、エリアを超えた応募を期待できると思いますが、公務員試験の中でこういったものを実施する</p>

<p>上山商工労働課長</p>	<p>などの取組の検討はどう行うのか伺います。</p> <p>⑥ アンケートに関して、今回実施は工業団地だけではなく、一部介護事業者、保育事業者に拡大したのはよいと思いますが、比較的大規模なところが中心で、小売、サービスなど市内の企業全体を見たときには、まだ偏りがあり不足している部分があると思いますが、お考えを伺います。</p> <p>⑦ 資料③えにわん産業祭の評価は説明いただいた通りですが、出展事業者からの意見などを踏まえ、どこを見直しをしようと考えているのか伺います。</p> <p>⑧ 資料④商品券事業について、郵便局からの配布は終わって、今は配布できなかったところを保管しているという状況でした。どのぐらいの配布率で、保管しているのは何%なのか伺います。</p> <p>⑨ 資料⑥スポーツ振興まちづくり条例との関係でいうと、やはりスポーツ環境に対しての大きな変化なので、これまでパブリックコメントや市民意見聴取の手続きは実施していると思いますが、そうではなく競技団体に特化した聞き取りはどういう形で行ったかを伺います。</p> <p>① 岩手の視察の結果は、ある程度整理をしたものはありますので、ただ私どもの中にかみ砕いてどのように取組むかを決めかねている部分もありますので、これについては中身も含めて、早ければ次回の常任委員会の中でお示しできればと考えています。</p> <p>② 障がい者雇用の義務付けの部分については、義務付けされていない会社も今回の調査の対象になっていますので、基本的に義務付けされている対象の部分については、義務を果たしているものと認識しています。</p> <p>③ 情報発信ですが、掲載媒体は基本的には合同企業説明会に出席いただく企業の媒体で、第1部の対象企業は応募が17名、第2部の対象企業は応募は30名、合計47名応募され、このうち1部では採用1名、第2部では採用2名決まったと11月末時点で中間報告をいただいています。</p> <p>④ 実施時期、人数もあるかと思いますが、今回就職希望の生徒を中心に進路指導担当の先生から再三参加を促していただいたり、協力いただいた部分です。今後は周知方法、実施時期について、高校と協議をしていきたいと考えています。また実施時期、夏休みの8月1日、2日でしたが、企業からもう少し早い方がという意見もありましたが、夏休みなど長期休暇の時期でないと生徒が授業を抜けるため、その辺のバランスが難しいと考えています。ただ、外の現場を見たりとか、今年は真夏で暑かったというのもあり、もう少し涼しい時期の検討もしたいとは思っていますが、夏休みと地域のバランスもあり、次年度開催に向けて大きな論点として、高校とも協議していきたいと考えています。</p> <p>⑤ 確かに記載した通り、こういう意見は出ましたが、そういう方が本当にいないのかというのはありますので、そこについては、今ある計画の中に言葉を追加するのか、言葉をそのままにしても、そこを対象に事業を広げるのか、そこも含めて検討をしているところです。</p> <p>⑥ 今回に関しては対象を増やしてきましたが、次回、今後第4期がある場合には、こういった部分についても拡大を検討したいと考えています。</p> <p>⑦ アンケートの報告資料3ページに、事業出展者からのイベントに望むことは</p>
-----------------	--

何ですかというところがあり、ここの部分は望むこととして挙げた方は多いので、それをできるだけ満たすようなやり方を今後考えたいと思います。

⑧ 10月末で配布を一度郵便局で完了していますが、完了したのが95.2%です。郵便局で配布できずに市役所に一度戻ってきたのが、全部で1,684件ありました。その後、まだ届いてないという問い合わせをいただいて、その後取りに来られた方が、11月末で322世帯あります。合計しますと、約96.1%の世帯に配布を終えています。

⑨ 実施はしていない状況です。

半導体ですが、早ければ次回ということなので、そういったものも参考にお話をしていければと思いますので、ぜひお願いします。

⑩ ①結果を見ると、アンケートとしては今のところ影響ないという意見が多い一方で、やはり人手不足に対する懸念が非常に強いということ考えたとき、その中でさらに工業団地の造成となると、ますます人手不足については影響が大きくなるということ考えると、工業団地の整備か否かを判断する大前提として、やはり強力な人材確保対策、人材の供給対策をとっていく必要があると思いますが、その点について伺います。

その上で人材確保計画について3、4、5点目についてはわかりました。氷河期採用に関しては、市役所だけではなく、企業の側としても、30代、20代から40代ということですが、30代、40代が不足というお話がありますので、中途採用の部分を探っていくことも必要と思っています。

⑪ ②1点目と2点目だけ再度お聞きしますが、障がい者雇用です。義務付けではないところも対象になっているが、義務づけのところは基本的にやってくれているだろうというお話ですが、達成していない企業はたくさんあります。その上で、助成金、調整金、その制度としては整ってきていることを考えたとき、そういう部分をしっかり企業にわかっていただくこと、それが進んでいないから結局障がい者雇用が減少していると思うので、人材確保計画の中でこの障がい者、若者だとか多様な働き手という大くりになっていますが、障がい者雇用という一つの 카테고리 としてつくっていき、さらにその情報発信を高めていく必要があると思いますが、考えを伺います。

⑫ ③推進委員会の取組として掲載いただいたところに、少ないなりに応募があったのはいいと思います。ただ、今回合同企業説明会も、多くの需要があったと伺っており、そういった中で説明会に出るところだけの媒体としてということだと、もっと掲載して欲しかったとか、もっと応援して欲しかったと思っている企業が多かったと思いますが、例えば出展企業を増やすために、回数、日数、媒体を増やすとかそういった部分での今後の取組は検討されているのか伺います。

えにわん産業祭については、出展者の望むところを満たすように考えていきたいということなので、そのようにお願いしたいと思います。

⑬ ⑧1,684件の戻りがあり、11月末で322世帯は取りに来たということです。そうしますと、1,350件ぐらひはまだ来てないと思いますが、せっかく事業として実施をしている以上は、できるだけ使っていただいた方がいい



<p>上山商工労働課長</p>	<p>と思いますが、残ってる世帯に対して、今後どのような方法で取りに来ていただくことを考えているのか伺います。</p> <p>⑭ ⑨ルルマップですが、お話は聞いていないということですが、その一方で基本構想に基づいて今後は測量や調査を進めていくということです。この測量や調査というのは具体的にどういったことか伺います。</p> <p>⑩ 工業団地をやるにしても、人材確保が重要だということで、人材確保と工業団地の造成の検討は、順次進めてきており、今後もその点を留意しながら、検討は進めたいと思っています。</p> <p>⑪ 今後素案を作成する際にその部分を検討したいと思います。</p> <p>⑫ 合同企業説明会の企業、回数、日数については、予算の関係もありますので、増やしますと即断することは難しいですが、やり方を工夫しながら、多くの企業のニーズを満たせるように次年度以降、検討したいと思います。</p> <p>⑬ 商品券をまだ受け取りに来てない方については、広報に掲載したり、今後年明けに、追加の第2期の8月以降に転入または出生された方の分、12月末までを基準日として送りますので、その周知と併せて、まだ取りに来てない方についても、周知は前年同様する予定です。</p>
<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>⑭ 現状パークゴルフ場になっており転用が必要ということもありますので、現状の測量調査が必要だということと、もう一点、調査については今後、あり方検討会からいただいた案について、どのような運営、施設運営を行っていくべきかも含めて、今後調査をしていきたいということで書いています。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>資料①についてはわかりました。同じ思いということで、その点留意しながら進めていただければと思います。</p> <p>⑮ ⑫推進委員会の取組について、予算の関係もあるので難しいということは、今年度は確かにそうかもしれませんが、工業団地を進めていく上での前提だと考えるなら、必要な予算は確保する中で、強力に進めていく必要があると思います。これだけ出展希望されてた企業に関しても、実際に出されたところだけではないということであれば、どのぐらいの需要があって、さらにそこを広げていくというところを示していただきたいと思います。</p> <p>⑯ ⑫先日の中小企業振興審議会の中でも、就職促進に関するところでの意見が複数出ていたように思います。これは令和4年度の中で、作業部会の中で出ていた例えばつまみ食いパッケージという提案がありましたが、それが実施されないまま令和5年度も同様の取組が掲載されていました。せっかく専門部会を設けて中小企業の人材確保や振興のために取組んでいるのであれば、そういった部分も、出てきた意見の中で使えるものについてはしっかり反映をしていく必要があると思いますが、こういったものについても人材確保計画の中で反映していく考えがあるのか伺います。</p> <p>⑰ ⑪障がい者雇用です。なかなか福祉サイドとしても障がい者雇用、一般企業における一般雇用の部分が進んでいかないことを考えたとき、雇用サイド、労働サイドから働きかけをしていくことは重要だと思っており、章立てもそうですし、具体的に義務づけされている企業があり、そういうところを把握してるわけですから、特に今回は比較的雇用ニーズの多いところに対して調査を行っ</p>

<p>上山商工労働課長</p>	<p>たことを考えると、そういったところでどういう取組を市としてしていけば障がい者雇用が増えていくのか、当然恵庭市自体もその事業主、そういう役割を果たしていかなければいけないですし、企業に対しても求めていくことを、この人材確保計画の中で明記していただきたいと思いますが、考えを伺います。</p> <p>物価高騰はわかりました。</p> <p>⑮ ⑭パークゴルフ場に関しては、構想に影響するところの測量は、全面的にその施設全体ということになるのか、それとも現状でパークゴルフ場に限定されたものなのか伺います。</p> <p>⑯ 第1部、第2部、詳細の数字を今回持ってきていませんが、会場の関係もあり対象としてお断りした企業も、それぞれ4～5社あったと記憶しています。</p> <p>⑰ こちらも貴重な意見としていただいたものですので、人材確保計画の素案の作成の際に、入れるものは入れたいと考えています。</p> <p>⑱ 障がい者雇用にいても同様に、こちらも人材確保計画の素案検討する際に、どうするかという部分も検討してまいりたいというところです。</p>
<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>⑲ 基本構想に基づく変更があるものについて調査したいという考えです。具体的に現在基本構想の内容でいうと、農園は開園する予定はありませんので、測量の予定はありません。あくまでも道路の上側、パークゴルフ場、芝生広場付近の測量調査を行い、子どもの遊び場、キャンプ場という基本構想になっていますので、影響する部分について、測量等調査をしていきたいと考えています。</p> <p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p> <p>【質疑】</p>
<p>川 股 委 員</p>	<p>① 有害鳥獣、アライグマとミンクです。今年の2月の頭に、特定有害鳥獣に指定されているアライグマとミンクについて、恵庭市が主催する講習会を受けることにより、くくりわな、箱わなの免許を持っていない方でも捕獲ができるということで講習会を開いて、何十人か来てくれたと思います。その講習会について今後行う予定でいるのか伺います。</p> <p>② 次、鹿ですが、本年夏に、和田代議士の力もお借りしながら、農水省、環境省の方、各市町村の代表、農政の代表の方がオンラインで、鹿、熊等の被害状況について直接訴える機会があり、農水省、環境省等で補助金が出るのですが、なかなか北海道の動きもよろしくないという印象を受けました。その中で、北海道大演習場の中でわなを仕掛けてもいいという許可が出て、農政で早速、道や部隊とも対応してくれました。その結果、くくりわなを仕掛けることになりましたが、これはもう実施されたのか、これからなのか伺います。</p>
<p>市川農政課長</p>	<p>① アライグマについて、今年の2月に講習会を行い、わな免許を持ってない方もアライグマの捕獲ができるという形の講習をしました。その結果、今年度登録された方が1名もいませんでした。その理由としては、まだアライグマの一時保管施設が盤尻にしかなかったことが理由でした。あと、今年度、冬に農村部にも、アライグマの一時保管施設ができた際に、前回講習を受けた方に対し</p>

川 股 委 員	<p>て再度周知を行い、まず登録者の確認したいと思いますので、今年度に関しては再度講習の開催は予定していません。</p> <p>② 防衛省とも協定を結び、演習場内にくくりわな設置の許可は出ました。実際設置をしようとしたタイミングで盤尻に熊が出没してしまい、そこでくくりわなを設置してしまうと、熊を誘引してしまう危険性があるということで今年度に関しては、くくりわなの設置ができませんでした。その後、無事デントコーンなどの収穫も終わりましたので、今後は、雪解け後、春先にまた防衛局と調整して、くくりわなの設置という方向で進めたいと考えています。</p> <p>③ ①実績等については実績がないということですね。それで次年度、年明けてから講習会をしないということです。前回同僚議員の一般質問で、新しい場所を考えているという答弁がありました。そこについては、完成はいつで、公表できるのはいつごろなのか伺います。</p> <p>④ ②鹿について、くくりわなは熊を誘引する可能性があるということなのでわかりました。今の熊の出没状況を考えると、春になってもあまり状況は変わらないのではないかと報道関係を見て予測できるのですが、そうすると、次年度は状況を見ないと演習場でのわなをしかけることについてはわからないということですかね。鹿は、国で求めているのは、くくりわなではなく囲いわなです。大規模なわなになりますが、その中である程度一網打尽にして、それを処理する能力さえあればやれるということで、しかも鹿たちもある程度学習し、そこには近寄らないといったことが起き得るのではないかとということを含めて、経費はかかりますが囲いわなでやってもらいたい意向のようですが、このことについて伺います。</p> <p>⑤ ①アライグマは、登録者が1名もいなかった。講習は受けたけども、生環部に登録し、捕獲従事者になって捕獲することができるということでした。私も受講し同僚議員も受講しましたが、登録する段階で農業者でないという目ですと断られました。農業者でなければ登録できない理由を伺います。</p>
市川農政課長	<p>③ アライグマの一時保管施設の完成時期と公表の時期ですが、倉庫自体は設置完了しましたが、電気と冷凍庫の設置がまだですので、雪解け前には工事完了する予定ですので、次回の常任委員会で報告したいと思っています。</p> <p>④ 演習場のくくりわなの設置に関して、熊の出没についてはゼロカーボン推進室と情報共有しながら進めており、春の状況で熊の出没状況があまりなければ、農業者から駆除依頼があった段階でくくりわなの設置を進めたいと考えています。囲いわなは、去年に引続き今年も北海道で、恵庭市と千歳市の行政界の捕獲困難地の付近で、囲いわなの設置する事業があります。囲いわなによる北海道の事業の成果を見ながら今後参考にしたいと考えています。</p> <p>⑤ あくまでも捕獲の許可を出してるのが農業被害に対する捕獲ですので、基本的には圃場を持っている農業者からその方の圃場に箱わなを設置するというのを基準としていますので、登録者は農業者に限らせていただいた経緯があると認識しています。</p>
西中経済部次長	<p>⑤ アライグマについて、いろいろ課題があります。農業者に限っているのは、農業被害に関してということになりますが、実際アライグマは外来種で、駆除</p>

はできますが、そのわなにキツネがかかった場合は免許がないと駆除できないという状況もあり、その課題をクリアするというのと、現状で行っているアライグマ、キツネのわなを使った駆除に関しては、農業者から特に大きな障害はないと聞いていますので、これからも調査しながら進めていきたいと思っています。

④ 囲いわなは経費かなりかかり、また大量に捕獲した場合の処分の経費等を考えると、現在すぐ行うということは厳しいところです。こちらについては過去より、地元農協、JA道央と恵庭市を含む近隣4市の有害鳥獣の話合いの中で、中間点にある恵庭市で囲いわなを設置するという話はありませんでしたが、実際囲いわなで捕獲した場合、処分の仕方、駆除の仕方等の課題、設置場所、囲いわなの場合、大型になると、その都度移動するのにかなり経費がかかり、購入費、維持費等を考えると、そこが課題になっていますので、そこは現在も、4市で協議をしており、これからも調査研究していきますので、成果が出てくるような情報、今の判断と話しながら進めていきたいと思っています。

川 股 委 員

⑥ 囲いわなに関して規模も大きいですから、費用もかかることはわかります。国も、どのように北海道、市町村に向けて補助金を出せるかを今検討中だと伺っています。そういったものが、市町村においてきて、さらに囲いわなが使えるようになるのは望ましいと思っており、諦めないでそういった可能性があることを念頭に入れながら進めていただきたいと思います。処理施設ですが、大量に取れた場合ですが、恵庭には1か所、鹿の処理施設があります。先日おうかがいしてきましたが、今は1日20頭は処理できる能力があるということです。取り具合によって人を増やせばまだまだいけるということですが、1回のわなでどれぐらい取れるかは、やってみなければわかりませんし、搬出するのも1頭ずつ出し、積込み、処理し、囲いわなを置いておけるものならそのままにして、また次の日ということもあり得るということです。工夫次第でそれはできると思います。中間処理施設等も含めて10年前からずっと要望してきていますが、なかなかJA道央そのものも被害の直接多い千歳、恵庭、北広島と他の地区とはまた別の考え方があり、話が進まない部分があるかもしれませんが、どこかでやらないといつまでもこの状況は続くし、鹿は増え続けると思います。今の段階では捕獲していかないと、あるいは去勢するか何か手立てをしないとこのまま増えていく、やがては増えすぎて淘汰するでしょうけども、そのときには業者は1件もいなくなっていると思います。それから、盤尻に以前よく出没していましたが、よく出るところにフェンスを張ったところ、そこには出てこなくなりました。その分だけ漁川を渡って恵庭市営リンクの裏の圃場に出てきている状況です。かなりまちに近づいてきていますので、市民や車に事故が起きる前に食い止めるべきだと思いますので、先ほどの脱炭素課との連携も組みながら、しっかり事故が起きる前に減らす対応をしていただきたいと思います。

⑦ アライグマのわなですが、圃場の所有者にお願いしたいということでした。圃場の所有者に許可をもらえば、農業者でなくても、講習会を受けて登録さえしてあれば取れるということですよ。ただしキツネが入ったときは逃がせば

西中経済部次長	<p>いいだけのことです。そのあたり再検討をお願いしたいと思います。農業者だけでなく、もう恵庭にアライグマいないということになるまで、市民も農業者も一体となって、駆除に向かって協力すべきだと思いますので、そういったことも再考をお願いしたいと思います。</p>
柏野委員	<p>⑥ 現状行っている駆除も年間200頭を超えており、年々増えています。これは継続しなければいけないと思っており、それを継続しつつ農業被害に遭わないような、有害鳥獣に対する対策があれば行っていきたくて思っています。</p> <p>⑦ アライグマについては課題もあり、一般の市民も行うことに関しては、基本的には農業部門だけでは決められないと考えていますので、脱炭素担当と調整しながら調査研究していきたくて思っています。</p>
柏野委員	<p>① 先日の中小企業振興審議会の中でも藤の恵について御意見があったと思っていますので、その販売実績がどうなってるのか伺います。</p>
上山商工労働課長	<p>① 藤の恵の販売実績、手元に持ってきているのが令和4年度のものになりますが、販売商品数全体で130件、売上額2万4,267円です。こちらのサイトのあり方ですが、現在藤枝市と協議中であり、見直しも含めて検討しています。先方との協議が終わり次第改めて報告をしたいと考えています。時期は相手があることですので、いつとは申し上げることはできません。</p>
柏野委員	<p>② 先方との協議を待ちたいと思いますが、出していただくときに単年ではなくある程度推移を見せていただいた方が、お話しがしやすいと思います。近年だとふるさと納税に力を入れているかもしれませんが、そもそもこれは6次産業化ですよ。商品開発をしてもう少しマーケティングをしっかりとしないと、作ったは良いけど売れないのではないかと話をしてきたと思うので、見直しをしていくとしたときに、作った商品は今後どこで販売をしていくのか伺います。</p>
上山商工労働課長	<p>② 今委員おっしゃった部分についても、現在協議の俎上に上がっていますので、そちらについても同様に報告、後ほど時期は未定ですが報告させていただくことになると思います。</p>
川原委員	<p>① 冬場のはなふるの運営をどのように考えているのか伺います。</p>
廣瀬花と緑・観光課長	<p>① 本年度に入り、様々なはなふるではイベントを行っていますが、冬に向けても、今イベント等を検討しています。毎年行っているランタンのお祭りやスノーフェスタで冬場も盛り上げていきたくて思っており、これについては指定管理者と協議をしながら進めており、四季折々、年中様々なイベントをやりたいということで取り進めています。</p>
川原委員	<p>② ガーデンシティ恵庭と指定管理者と打ち合わせをしていくということですが、もう既に概ね形が決まってないと実際雪が降ったときにできるのか心配なのですが、はなふるの道の駅側の部分だけなのか、今の駐車場の部分、センターハウスの側の駐車場、あとホテルの全面を冬場も使っていき、そして噴水の周りの通路、確か去年はそれは全部埋まっていたと思いますが、駐車場と全面を冬場も活用していきこうという考え方で指定管理と話しているのか伺います。</p>
廣瀬花と緑・観光課長	<p>② 園路が10m程度ですが、通路は全て除雪することで今進めています。イベ</p>

川原委員	<p>ント時においても通路を使い、道の駅と連動したイベント、さらにははなふるの駐車場や道の駅と連動した公園全体を使ったイベントができるということで、今後詳細を指定管理者と詰めていきたいと考えています。</p> <p>今まで通り全面の部分も冬場も使っていくということで、雪が積もったら、夜のライトニング、照明など1月、2月が楽しめるような環境にさせていただきたいと思っています。ホテルも冬場も営業してますし、ぜひとも指定管理者と、冬はイベントのときだけではなく常時回遊できるよう、お願いしたいと思っています。</p> <p>2) その他所管事務調査について終了</p> <p>日程5. 経済部関連終了</p> <p>●日程6. 水道部関連</p> <p>1) その他所管事務調査について (質疑 なし)</p> <p>1) その他所管事務調査について終了</p> <p>日程6. 水道部関連終了</p> <p>(理事者・執行部退席)</p> <p>●日程7. 閉会中の所管事務調査項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪について</li> <li>・北海道における次世代半導体プロジェクトに対する恵庭市の取組みについて</li> </ul> <p>日程7. 閉会中の所管事務調査終了</p> <p>●日程8. その他</p> <p>なし</p> <p>日程8. その他 終了</p> <p>委員長が閉会を告げる</p> <p style="text-align: right;">(14時40分 終了)</p>
------	---